

日々是好日

令和元年度
明石市立二見中学校
緑学年(74 回生)
学年通信

第 43 号

令和元年 11月15日発行

道徳研究授業から...

13日(水)に、『ごめんね。おばあちゃん』という教材で、研究授業が行われました。1時間目に2~7組で各担任が授業をして(3組は黒田先生)、6時間目に1組が同じ授業を受けました。たくさんの先生が入ってきたので、1組のみんなはちょっぴり緊張したようでした。



・今日の授業では、家族のありがたみが分かりました。私達は毎日学校に行ってるけど、その間で仕事をしてくれたり、家事をしてくれたりしているんだなと思いました。私は、ちょっとでも負担がかからないように、自分のことは自分で責任を持ち、迷惑がかからないようにしようと思いました。感謝の気持ちを忘れずに過ごそうと思いました。(4組女子)

・家族は、みんなのために家事をしてくれたり、朝早くから夜遅くまで働いたりしてくれているから、それにしっかり感謝して、これからは手伝いをたくさんして、勉強して将来ちゃんと何かしてあげられるように頑張りたい。(4組女子)

・最初、おばあちゃんはいらんことをして怒っていたけど、いつも授業参観とか見に来てくれたのに、ひどいことを言ってしまったなと言う気持ちになって、「ありがとう」と「ごめんね」の二つの感情が一つの分になっているのが分かって、おばあちゃんとか、自分を支えてくれる家族を大切にしようと思いました。(1組女子)

・今でも自分の親や祖父母には、色々自分のことのためにしてくれたことがあるのに、自分も親の1度のミスで怒ってしまったことがあるので、その時にはしっかりごめんねと言えるようにしたいです。それと、毎日学校とか生きていられるのも親のおかげだと思うので、ありがとうと感謝の気持ちも伝えられるようになります。(1組男子)

・おばあちゃんとかになったら、不自由な体になって大変だけど、大事にしてあげたいと思いました。おばあちゃんも、おばあちゃんなりに頑張っているの、少しかわいそうだなと、はじめは思いました。でも後から聴の考え方がかわってよかったあとほっとしました。私もこんなになつてないか振り返ってみたいです。(2組女子)

・家族とは、育ててくれる人。いくらいららしてたとしても、悲しませたりしてはいけないとわかりました。母さん、おばあちゃんが年をとって体が思うように動かなかったり、耳が遠くなったりするときに来るかもしれないけど、その時は私が手伝ってあげる時なんだなと思いました。(2組女子)

・僕も家族を大切にしたいなと思った。親がうざい時もあるけど、それ以上に今まで助けてもらったことの方が多いと思うから、家族を大切にしたいと思った。しっかりと次からは、親の気持ちも考えて行動したいと思った。(7組男子)

・一番身近にいる家族を大切に、時にはムカつくけど、家族に対して思いやりようと思いました。また、私も祖母と一緒に住んでいるので、今日の話のように、骨折、入院などをしたら、お見舞いに行こうと思いました。いつも何でもしてもらっているので、感謝して生活したいなと思いました。(7組女子)

・自分達でできることはしっかりとやって、自分のことを支えてもらってる、助けてくれる、大切に思ってくれている家族のみんなに感謝して、次は自分が家族のためにできることを考えていけるようにしたいです。(3組女子)

・おばあちゃん。ごめんねの文から読み取れることで、ただひどいことを言ってしまったからあやまったという気持ちもあるけれど、もっと掘り下げて、おばあちゃんに思っていた以上に自分たちのことを想っていたことや、おばあちゃん自体もしんどいのになんか頑張ってくれているなど、自分もまわりのみんなも考えをしっかりと持っていたのでよかったです。(3組男子)

DATH NOTE 達成者

日付	組	氏名(冊数)
11月5日	1組	(11)
11月7日		(7)
11月11日	3組	(5)
11月14日	1組	(5)
	3組	(5)
10月30日		(4)
11月5日	1組	(4)
	2組	(4)
11月8日	3組	(4)
11月14日	1組	(4)
10月28日	3組	(3)
	5組	(3)
10月29日	3組	(3)
10月31日		(3)
		(3)

日付	組	氏名(冊数)
11月5日	1組	(3)
		(3)
	3組	(3)
11月6日	7組	(3)
11月7日		(3)
11月8日	3組	(3)
11月14日		(3)
10月24日	1組	(2)
10月28日	7組	(2)
		(2)
11月5日	3組	(2)
11月7日	1組	(2)
11月11日	7組	(2)
10月28日	3組	(1)
	7組	(1)
10月29日	3組	(1)
10月31日	7組	(1)
11月14日		(1)